

《山火事防止》

山火事は貴重な森林を一瞬のうちに消失させる災害です

これからゴールデンウィークを迎え、ハイキングや山菜採りなどで山に入る機会が増えると思います。休憩中に一服・・・‘何気なく捨てた1本のたばこ’。でも、それが取り返しのつかない大きな山火事につながる可能性があります。山火事の怖さは、火の粉が飛散し同時多発的に着火延焼すること、延焼スピードが速いこと、消火活動が困難なことが挙げられます。山火事は延焼しやすく消火しにくい火災であり、大規模な火災に発展して地域社会に甚大な影響を与えることから、山火事を発生させないことが最も大切です。

一人ひとりの力を合わせ、恐ろしい山火事を防ぎましょう。

山火事を防ぐポイント

- ・火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火する
- ・空気が乾燥している時や強風時はたき火、火入れはしない
- ・喫煙は指定された場所で行い、吸い殻は必ず消し、投げ捨てない！
- ・火遊びはしない

油断大敵



「山の火事 もとは小さな 火種から」

平成25年全国山火事予防運動統一標語

～消防車の救急支援活動について～

PA連携出動

「PA連携出動」とは、消防車（Pumper）と救急車（Ambulance）が連携して救急活動を行うことで、双方の頭文字から「PA」と呼ばれています。

「救急車を呼んだのに、消防車まで来た」とびっくりするかもしれませんが、消防車にはAEDや救急資機材を積載し、かつ、消防隊員も救急隊員と同じ資格を持った隊員が乗車していますのでどうぞご安心ください。



「PA連携出動」するのはこんな時・・・

- ・傷病者が重症の可能性があるため、救急隊のみでは迅速な対応ができない時
- ・2階以上に傷病者がいて、搬送困難な時
- ・交通量の激しい場所で、傷病者や救急隊員の安全を確保する必要がある時
- ・救急車が出動中で、現場到着が遅れると判断される時
- ・ドクターヘリや防災ヘリを運用する時

● ● 消防車のサイレン音について ● ●

火災の時 「ウー・カン・カン」
火災以外の時 「ウー・ウー」